

対策困難箇所事例

事例No.

事例分類

1 2

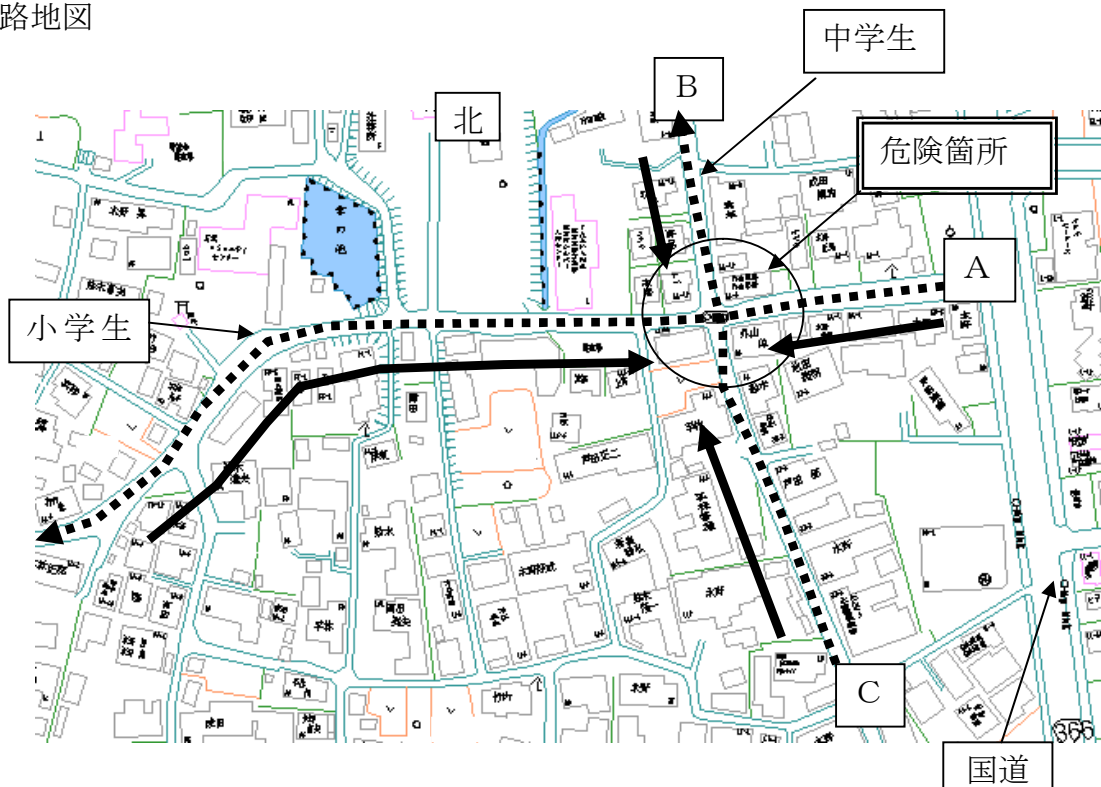
見通し悪い交差点

1 危険箇所の状況

■危険箇所の状況

- ・シルバー人材センターの前の交差点
- ・1灯式点滅信号機あり
- ・四方向から車（→）が出入りしてくることに加え、見通しが悪い。
- ・中学校で自転車通学の生徒（南北方向）、小学校で徒歩通学の生徒（東西方向＋南北方向）、自動車（四方向）が交差点に入り、かなり危険である。現状はスクールガードの方が一人で交通整理をしている。

■通学路地図



交通状況

中学生 自転車 約 500 人（南北方向が多い）
 小学生 徒歩 約 50 人（東西方向が多い）
 自動車（東西方向が特に多い）

■ 現場写真



A方向からの通学団の横断風景



B方向からの通学団の横断風景



C方向からの通学団の横断風景



2 市町村連絡協議会における意見

■道路管理者

- ・交差点のカラー舗装化による注意喚起

■その他

- ・スクールガードや学校による立哨により児童生徒の誘導や車への注意喚起が行われている。

■アドバイザー

- ・中学校の自転車通学については、国道を通ることを再度考えてはどうか。ただし国道へ出る場所での対策を考える必要がある。

3 対策（案）

■道路管理者

- ・交差点のカラー舗装化（平成 26 年度予定）

■学校

- ・自転車通学については、国道を通ることを再考、ただし国道へ出る場所での対策を考える必要がある。
- ・児童への注意喚起及び登下校指導。

対策困難箇所事例

事例No.

事例分類

1 3

横断の難しい横断歩道①

1 危険箇所の状況

■危険箇所の状況

現場は県道上であり、★地点には横断歩道があるが、信号が無く幹線道路への抜け道として利用されており、交通量が多く、またスピード超過車も多いため、横断歩道を渡るタイミングが難しく非常に危険な状況である。

■通学路地図



この背景地図等データは、国土地理院の電子国土Webシステムから配信されたものである。

■現場写真

(東側から撮影)

(北西側から撮影)



2 市町村連絡協議会における意見

■警察署

- ・信号機を設置するには、道路改良が必要であり、歩行者滞留場所の確保などが必要となる。
- ・現場には駐車場があり、押しボタン信号機の設置には出入口を閉じる必要があるため、設置場所の変更を検討する必要がある。

■学校

- ・信号機の設置など、歩行者が安全に道路を横断できるような対策をお願いしたい。
- ・現場では、保護者等の立ち会いにより、児童の誘導や注意喚起が行われている。

■アドバイザー

- ・道路南側にグリーン舗装を行う。
- ・減速ドットライン周辺にラバーポールを設置する。
- ・横断歩道手前でスピードを落とさせるため、すでに路面標示されている文字上や停止線手前に赤カラー舗装を行う。

■道路管理者

- ・注意喚起路面表示は実施済みである。

3 対策（案）

■道路管理者（県）

- ・【平成 26 年度実施予定】
路肩のカラー舗装

■警察署

- ・【実施等未定】

当該場所では歩行者滞留場所の確保など道路改良が難しく、また、設置場所に隣接する駐車場への対応など課題が多いため、現状では信号機の設置は難しい。